

地震対策 – PHb工法について –



ワーキングの詳細
はこちらから

論点No.11

東海第二発電所の取水構造物の耐震補強工事で採用している、PHb (Post-Head-bar) 工法というのは、一般的な工法なのか。



第22回ワーキング
(2022.11.1) で議論

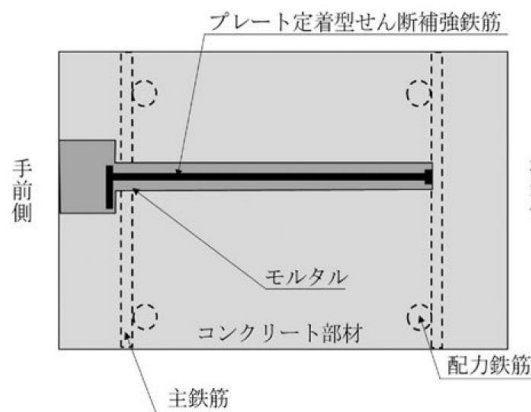
ワーキングチーム検証結果

PHb工法は、国土交通省の準推奨技術として選定されており、道路、ポンプ場、鉄道、水門等の工事で施工実績があることを確認。

ワーキングチーム検証結果 (抜粋)

○PHb(Post-Head-bar)工法

- 既存の構造物の表面からドリルで削孔を行い、その孔内にモルタルを充填後、後施工プレート定着型せん断補強鉄筋 (PHb) と呼ばれる特殊な鉄筋を設置し、構造躯体と一体化を図り、部材のせん断耐力 (物体を互い違いにずらす方向に働く力に対する耐力) を向上させる工法
- 東海第二発電所では、取水構造物の鉄筋コンクリート部材に対して、耐震性向上を目的としてこの工法により耐震補強を行う。



PHb工法の概要

○PHb工法の実績

- PHb工法は、平成17年度に一般財団法人土木研究センターより建設技術審査証明を交付されている。
- 国土交通省により、令和元年度の準推奨技術として選定され、道路等の工事で施工実績がある。

PHb工法の施工実績

対象施設		施工件数
道路・地下街	空港アクセス地下街・道路橋他	36件
浄化センター (ポンプ場合)	最終沈殿池、ポンプ室他	385件
鉄道	地下駅舎・トンネル部	11件
浄水場	排水池他	127件
水門	津波対策用防潮水門他	156件
排水機場	排水機場他	31件
排水路	地下排水路	14件
発電所・プラント	貯水池・水路他	6件

※PHb工法研究会資料より (H31.4現在)